

ロタウイルス予防接種に助成を



近藤 大介 議員

町長

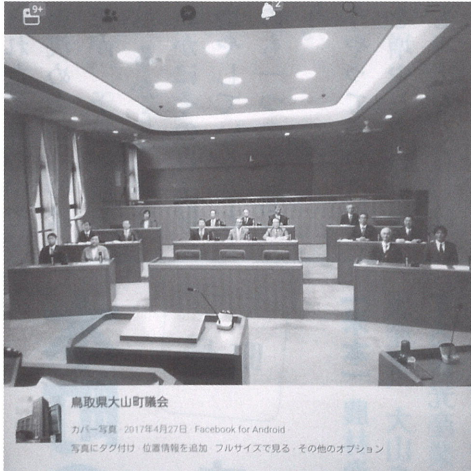
半額助成を行う

【近藤】ロタウイルス（感染性胃腸炎）は、感染力が非常に強く、赤ちゃんがかかると、重篤化することがあり、乳幼児期の予防接種が推奨されている。多くの保護者が予防接種を受けさせているが、任意接種であるため2万5千円くらいの費用負担がある。子育て支援として、半額程度の助成をしたらどうか。

【町長】県内では10町村ほどの助成の実施をしている。本町としても負担軽減の観点からロタウイルス、それからおたふく風邪の予防接種、この二つの任意接種に、来年度から半額助成を行っていきたい。

【近藤】生活保護世帯には全額助成など、さらに踏み込んだ助成を検討する考えは。

【町長】何らかの対応を考えたい。



鳥取県大山町議会
カメラ写真 2017年4月27日 Facebook for Android
写真にタグ付け 位置情報を追加 フルサイズで見る その他のオプション

大山町議会は情報発信に Facebook を活用

町長

広報に SNS の活用を積極的に取り組む

【近藤】行政情報のお知らせは、主に防災無線や、広報だいせんで行われているが、若い世代には、なかなか情報が届いていない現状がある。

【町長】 SNS は情報発信のツールとして非常に有効と考えている。来年度は積極的に取り組んでいきたい。

インバウンド対策に海外視察を

町長

意識変革が必要

【近藤】国のインバウンド政策も進むなか、観光関係の事業者、観光局や行政関係者らの大きな意識変革が必要な時期と考える。

先進事例を学ぶため、関係者の海外視察事業も検討すべきではないか。

【町長】意識変革が必要というのは全く同感である。今の大山の観光では、観光消費をどう伸ばすかが課題であり、先進事例として観光消費を伸ばしているところがあれば是非とも検討していきたい。



観光業の活性化に人材育成をどうするか

水田転作の基本方針は



野口 昌作 議員

町長

農業再生協議会で協議する

【野口】国の転作面積の配分は今年で終わり、30年からは生産者団体で行うこととなるが、面積配分は行われるか。

【町長】鳥取県農業再生協議会から生産数量の目安が提示され、1月に集落推進委員に知らされる予定。

【野口】本町への主食用米生産目標は。

【町長】再生協議会が示す目安は、本年の実績が55ヘクタール少なかったことから、50ヘクタールほど減少する見込み。

【野口】来年からなく

品目	戦略作物単価		備考
	面積払い	数量払い有無	
麦	35,000円/10a	+数量払い	出荷
大豆	35,000円/10a	+数量払い	出荷
飼料作物	35,000円/10a		畜産
米粉用米	55,000円~105,000円/10a		国の
飼料用米	55,000円~105,000円/10a		国の
WCS用稲	80,000円/10a		国の
加工用米	20,000円/10a		国の
産地交付金活用部分			
品目	単価		

稲作農家の生産意欲に影響が出ないか心配だ

なる直接支払交付金は、本町稲作農家にいくら入らなくなるか。

【町長】昨年実績で5652万円支払われていた。

【野口】この金額が収入減となる。

【町長】本町の農業生産額全体が上がるよう、さまざまな施策を打っていききたい。

【野口】経営所得安定対策、産地交付金については変わらぬか。

【町長】ほとんど変わらないが、再生協議会で協議する。

適切な道路管理を

町長

順次対応していく

【野口】先回、契約の仕様書に明記するとの回答だったが、後退か。

【町長】今年度から仕様書に明記している。

【野口】道路管理で路肩の刈り草は、側溝から取り除きを。

【町長】水路に草が落ちないよう指導する。

【野口】通行の妨げになる枝の伐採管理を。

【町長】伐採は原則所有者にお願いしたい。

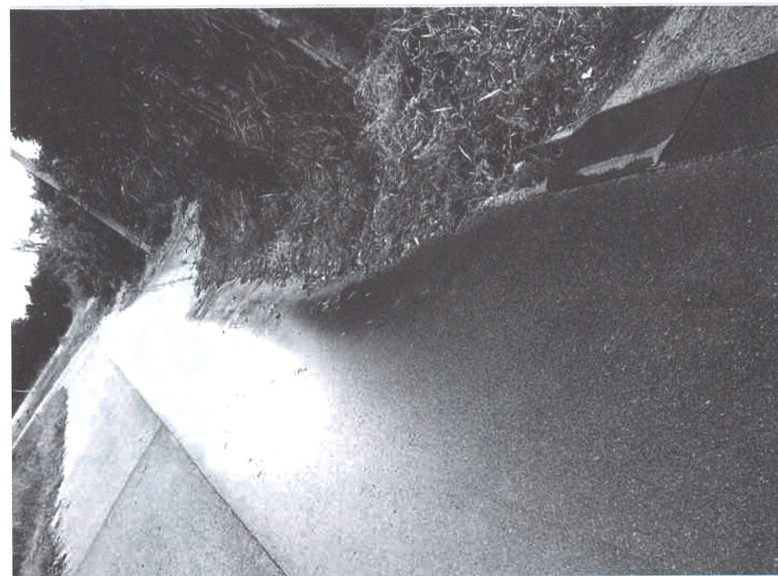
【野口】所有者でできてないから提起している。区長会などで実情を話したら。

【町長】住民の意見を吸い上げるため、旧校区単位の区長会を考えている。

【野口】側溝が埋まっている。

機械を購入して能率

ている。



側溝が埋まった町道

的管理をしないか。

【町長】今年度ミニバックホウを導入したので、活用し管理を行う。

【野口】停止線・中央線などが消えたりして

いる。再塗装を。ガードレールの修繕を。

【町長】公安委員会と協議し、順次引きなおす。ガードレールも順次修繕する。